

ICANN76 ccNSO関連報告

第66回ICANN報告会
2023年4月12日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）

- 正式名称：

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ

- ICANNの活動を支える支持組織の一つ。170を超えるccTLDが参加している。
- ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

※ 下線のセッションが特にccNSOメンバ向けの内容です。
※ 本日は、以下の①~③についてご報告します。

3月12日(日)	ccNSO Council Preparatory Meeting
3月13日(月)	Tech day Joint ccNSO & GNSO Council Meeting [非公開]
3月14日(火)	<u>ccNSO welcome & policy updates</u> ① ccTLD News session: general Governance Session: SOI/COI & policy implementation <u>20 years of ccNSO</u> ②
3月15日(水)	<u>ccNSO & UA Roadmap</u> ③ ccTLD News session: digital divide DNS Abuse Standing Committee Update ccNSO & ccTLD-related Board members
3月16日(木)	ccNSO Council Meeting

① ccPDP3 (1/2)

ccPDP3では2つの内容を検討

- Part1: TLDの委任終了のプロセス

- 概要

- ccTLDの委任終了が確定した後、基本5年以内にルートゾーンから削除を行う

⇒ Part1は既に活動を終了。

2022年9月のICANN理事会にて内容を承認済み

- Part2: プロセスのレビュー方法

- 概要

- delegation(委任)、transfer(移管)、revocation(解約)、retirement(委任終了)の判断に対するレビューメカニズム(再点検の方法)

①ccPDP3 (2/2)

ICANN76での動き

- Part2(プロセスのレビュー方法)の検討状況が報告された
 - 最終報告書のパブリックコメント期間は2023年1月に終了。内容に変更を要するコメント無し
 - ICNANN76会期中のccNSO評議委員会にて、最終報告書を承認
 - 2023年4月～5月にかけてccNSOメンバーでの投票を実施予定
 - 投票の成立には、全会員の50%以上の投票が必要
 - 採択には、投票数の内、66%以上の賛同が必要

② 20 years of ccNSO (1/2)

• 概要

- ccNSOが設立20周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返るセッションを実施
 - ccNSOは、2003年にICANNのSupporting Organizationの構成が変更された際、それまでのDNSO (Domain Name Supporting Organization) が発展的に解消する中で設立
- 現任のccNSOチェアAlejandra Reynoso氏の進行で、歴代のccNSOチェアが務めていた際のエピソードをそれぞれ披露

② 20 years of ccNSO (2/2)



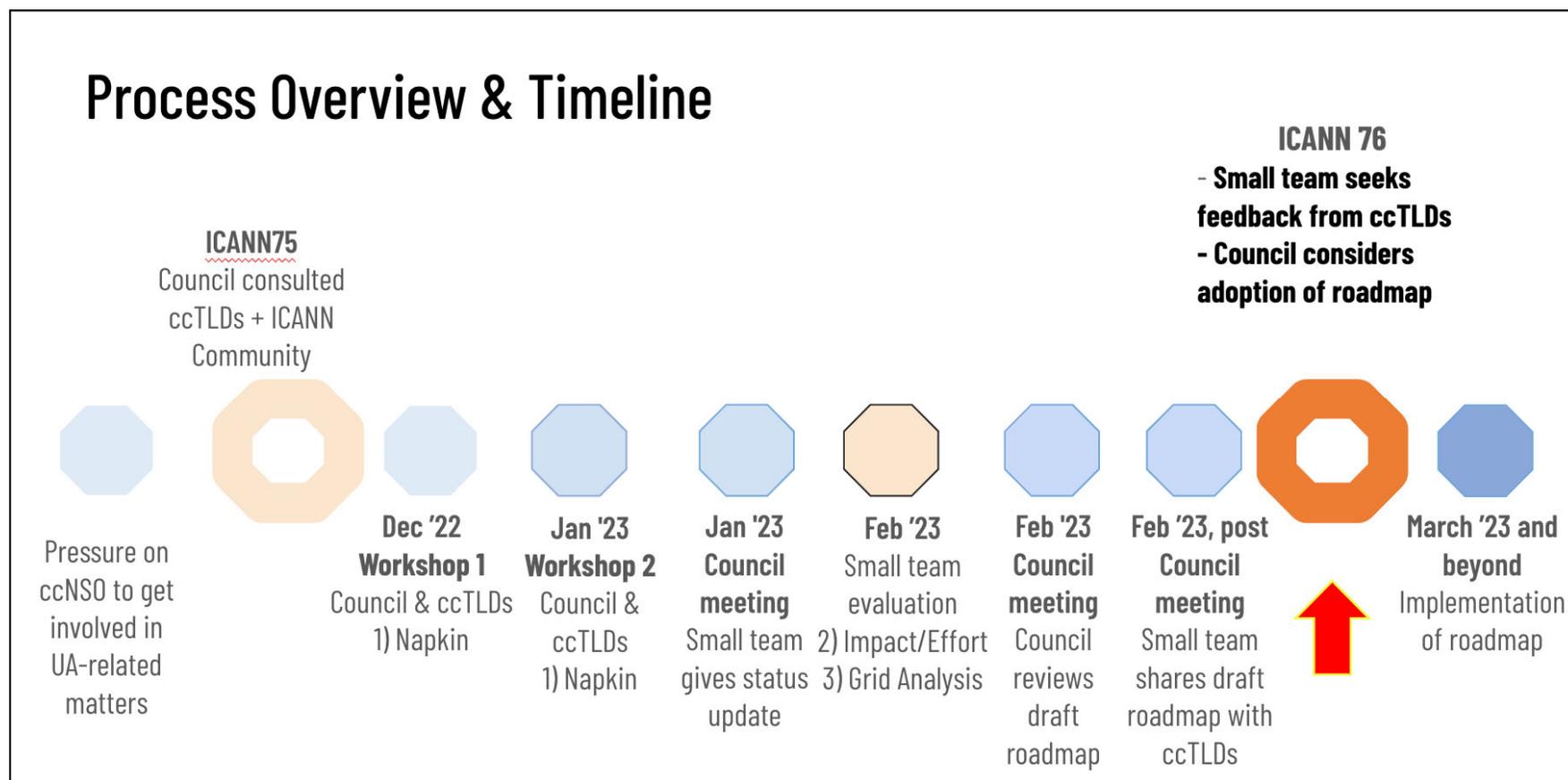
- 前列左から順に
 - Chris Disspain (.au)
 - 在任期間: ~2011年
 - Byron Holland (.ca)
 - 在任期間: 2013年~2016
 - Katrina Sasaki (.lv)
 - 在任期間: 2016年~2021年
 - Alejandra Reynoso (.gt)
 - 在任期間: 2021年~
- 遠隔参加
 - Lesley Cowley (.uk)
 - 在任期間: 2011年~2013年

③ ccNSO & UA Roadmap (1/3) ^{JPRS}

- Universal Acceptance (UA) とは
 - 「すべての有効なドメイン名が、インターネットにつながるアプリケーション、デバイス、システムによって矛盾なく受け入れ、検証、保存、処理、表示されるべきである」という考え方
 - IDNを利用したドメイン名をよりe-mailやウェブブラウザで利用可能とするべく、様々な活動がICANNで行われている

③ ccNSO & UA Roadmap (2/3)

- ccNSOでは、一部ccTLDを中心に2022年後半からUA関連の取組実施に関する動きが活発化
 - ccNSO評議委員会内のad-Hocグループにて検討を開始



③ ccNSO & UA Roadmap (3/3)

• ICANN76での動き

– ccNSO評議委員会のAd Hocグループにて作成したccNSOのUAに関する取組についての取り組み内容の案(以下のようなもの)を共有

※ UASG<<https://uasg.tech/>>

- UASG (Universal Acceptance Steering Group)との連携
- 各ICANN会合におけるccNSO会合でのUAに関するセッションの企画
- IDN/UAに関心があるccTLD Manager向けの情報提供

– 取り組み案に対するセッション参加者の反応を確認

• 今後の予定

– ccNSO評議委員会にて取り組み内容の案を承認

– 具体的活動を開始予定

jPRS